

ベネッセコーポレーション 未来の学びプロジェクト 学校様支援のご提案

- 01 授業時間数に合わせた単元計画の立案
- 02 「探究とは何か」導入レッスン
- 03 探究計画、調査、整理分析、まとめ・表現
で利用できるワークシート
- 04 探究ふりかえり評価シート
- 05 探究テーマに応じたゲストティーチャーの
コーディネート

この資料、支援内容についてのお問い合わせ先

(株)ベネッセコーポレーション みらいキャンパス運営事務局

◇お問い合わせ窓口◇

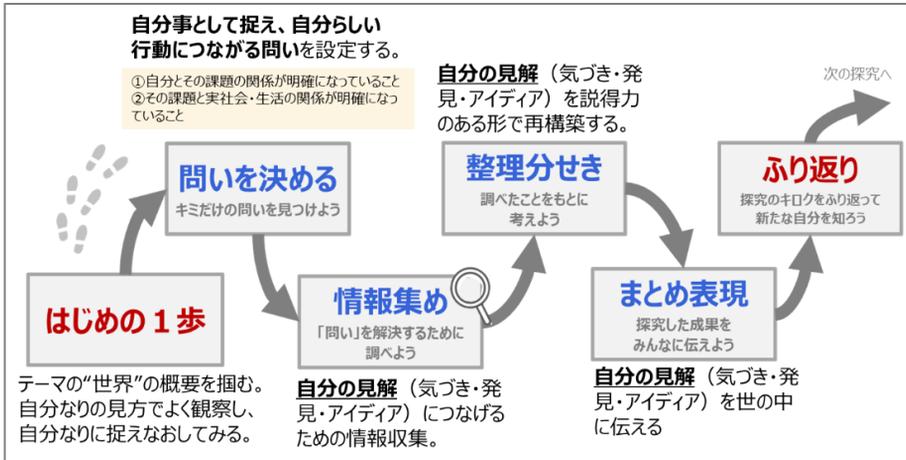
0120-907-964

通話料無料／平日15:00-21:00、土日祝9:00-19:00（年末年始除く）

01 授業時間数に合わせた単元計画の立案

ベネッセコーポレーション「みらいキャンパス」が採用している探究の6ステップに基づく、1ターム分の単元計画のご提案。御校の授業時間数や学習テーマに合わせて、毎時数の実施内容について、希望を伺いながら、ご提案していきます。

●みらいキャンパス 探究の6ステップ



「はじめの一歩」について:

探究は長い道のりになるため、嫌々取り組む「やらされ探究」にならないよう、初期の段階で自分が夢中になれそうな課題を探す時間を大切にします

「(大きな)振り返り」について:

1つ1つのステップに集中しているときには気づきにくい、自分の変化・成長をゆっくりと噛みしめ、次の探究活動の中でがんばりたいことを考える

例) 富谷小エコプロジェクト 単元計画



03 各種ワークシート

探究計画、調査、整理分析、まとめ・表現で使用できるシート各種。

PDFデータでのお渡しをさせていただきます。以下に、その一部を紹介いたします。

●課題の設定

My探究のタネ集め① 名前

◆自分らしいキーワードをできるだけたくさん見つけよう

“ワクワク” に関係する	“モヤモヤ” に関係する
楽しみにしていること：	こまっていること：

スキーム ()

自分らしい行動・アイデア
につながる問いを持てる

◆上のキーワードの中から今回取り組みたいものを3つ選ぼう

●情報集め

調査シート 科目 チーム名：

もっと知りたいこと・試したいこと (例) 調査シートの楽しみ方にはどんな種類があるのか

調べかた 当てはまるものを選んでください

<input type="checkbox"/> やってみる・作ってみる	<input type="checkbox"/> 現場に行ってみる
<input type="checkbox"/> 人に聞く (インタビュー)	<input type="checkbox"/> 本やインターネットで調べる
<input type="checkbox"/> 人に聞く (アンケート)	<input type="checkbox"/> その他が ()

具体的な内容 どんなことを？どこで？だれに？なにを？を明確にしよう

(例) 4年生の各クラスの先生に渡し物箱を見せてもらって、中になにが入っているか調べる

目的を持って調査し
記録できる

仮説 ()

▲まずは調査シートの記入欄に記入してください

調べた結果 わかったこと、わからなかったことを書く ※わからなかったということも大事発見

調査後の気持ち 調べる (やってみる) 前に考えていた仮説・予想とくらべてどうだった？

予想外中！	思ってたのとちがった！	びっぴり！大発見	意外な取っ手	わからなかった	きんた

▲1調査シートが完成したら、次はどんなことを調べたいか、その日のきょうの足あとにシートを書く

●整理分析

くらげチャート 書き方の例

■書き終わったら...理由と考えがながっているか見直してみよう! 情報が足りないところや、ほりさげて考えたいところが見つかるかも!

●まとめ・表現

探究まとめシート

月 日 名前:

わたしの探究の足あと	わたしだけの発見
<p>🔍 探究計画シート・調査計画シートを見ながら思い出そう!</p> <p>探究テーマ <input type="text"/> このテーマを選んだ理由 <input type="text"/></p> <p>① 探究テーマを決めたときはどんなことが気になっていたかな?</p> <p>② どのような方法で調べたかな? 調べるため <input type="text"/></p> <p>③ 調べてみてわかったこと・面白かったこと・びっくりしたこと <input type="text"/></p>	<p>🔍 今日の足あとや学習発表会の内容を見ながら思い出そう!</p> <p>④ わかったことから考えた自分なりのアイデア <input type="text"/></p> <p>⑤ みんなに伝えたい一番の発見 <input type="text"/></p> <p>⑥ これからさらにやってみたいこと・もっと知りたいと思ったこと <input type="text"/></p>
<p>☑ このあと発表用の資料が完成したらそれぞれの項目がきちんと入っているか確認をしよう! 確認ができたらチェックの印をつけてね!</p>	

「探究」ならではの視点で「まとめ」をつくれる

04 探究振り返り評価シート

探究活動の質向上&学習効果実感につながる3種類の振り返りツールをご用意。
PDFデータでお渡しもしくは、「ミライシード」内「オクリンクプラス」での活用ができます。

●毎回の振り返り

今日の足あと !!

月 日

今日やったこと

- はじめの一步
- 課題決め
- 情報集め・制作
- 整理・分せき
- まとめ・表現
- ふりかえり

今日の気づき・気持ちを書こう

●単元の振り返り

探究ふりかえりシート 名前 _____

今日の自分の「できる」をチェックしよう

あてはまる数字を選んで書こう
5:とてもよくできる 4:よくできる 3:できる 2:あまりできない 1:ぜんぜんできない

		10月	12月
探究	どんな興味も大切にしたいを見つけ、追いかける。		
自律	世の中であらうべきルールについて話し合ったり、ルールをつくったりする。		
協働	個性(自分らしさ、友だちらしさ)をいかしあい、話し合いながらチームワークを進める。		
共感	相手と同じところを見つけて共感し、相手とちがうところにも相手の立場になって共感する。 ※共感:ほかの人の考え方や感じ方、行いなどに「そのとおりだ」と思うこと。		
創造	「おもしろい」と感じることを大切にして、新しい価値(モノやコト)を生み出す。		
挑戦	やってみたことのないことをやってみる、やってみたことのないことをやった自分や友だちをたえさる。		
基礎	国語・算数・理科・社会・外国語で学習する内容をしっかりと理解できるようにする。これまでに学習した内容を使う。		

上で書いた数字のところに●をつけて、●と●を線で結ぼう。

探究

どんな興味も大切にしたいを見つけ、追いかける。

自律

世の中であらうべきルールについて話し合ったり、ルールをつくったりする。

基礎

国語・算数・理科・社会・外国語で学習する内容をしっかりと理解できるようにする。これまでに学習した内容を使う。

協働

個性をいかしあい、話し合いながらチームワークを進める。

創造

「おもしろい」を大切にして、新しい価値(モノやコト)を生み出す。

共感

相手と同じところを見つけて共感し、ちがうところにも相手の立場になって共感する。

05 探究テーマに応じたゲストティーチャーのコーディネート

テーマに沿った、児童が親しみやすい講師のご提案、講演内容をつめ、当日のアテンド、振り返りなども含めて請け負います。社会で活躍している大人に会わせ、本物の体験をして欲しいけれど、ツテがないし、交渉もしたことない、というお声を受けてのご提案です。

●富谷小での実践例

大人になるまで待たなくていい！ 環境活動家 露木しいなさん



23歳の環境活動家

世界一エコな学校「Green School Bali」卒業生
2018年にCOP24（気候変動枠組条約締約国会議）in Poland、2019年にCOP25 in Spainに参加。肌が弱かった妹のために口紅を開発し、Shiina Cosmeticsを立ち上げる。
2019年9月、慶應義塾大学環境情報学部に入學。現在は、気候変動についての講演会を全国の中学生・高校生に行うため、休学中。

捨てられるものをくりと生まれ変わらせる くり工房



アップサイクルを広める

通常であれば捨てられてしまうものを使った、アップサイクル品の製作・販売や、子どもからおとなまで様々な人が資源の再利用を体験できるワークショップを実施。小学校での出張授業も多数手がける。

くり工房 | 捨てられてしまう物を「くり」と生まれ変わらせる (kururiworks.com)

未来の「おいしい」を守りたい！ 竹下友里絵さん



食×農の社会起業家

「食」を軸に、様々な活動にトライしている。22歳の時、規格外野菜のフードロス問題を解決するために「八百屋タケシタ」を立ち上げ、27歳で閉業。里山再生事業や食育事業などを経て、現在は、株式会社ポードレスジャパンで事業創りを勉強中。
「べき」論を押し付けず、相手に寄り添いながら、社会課題への関心を引き出す対話力と、まずは自分で動いてみる行動力が魅力。

次世代環境教育を担う SUNTORY（水育）



水の専門家

「水と生きる SUNTORY」のメッセージの元、水を育む森を守る「天然水の森」活動をはじめ、美しい水を未来へつなぐ環境活動を行っている。
子どもたちが自然のすばらしさを感じ、水や、水を育む森の大切さに気付く、未来に水を引き継ぐために何ができるかを考えるプログラムを2004年から提供。
サントリー「水育」 (suntory.jp)